平成２５年度研究成果報告書《平成 25 年度教育課程研究指定校事業》

都道府県・指定都市番号	２７	都道府県・指定都市名	大阪府
学校名（ふりがな） （生徒数）	おおさかふりつひがしもずこうとうがっこう 大阪府立東百舌鳥高等学校 (940 人)		

（本研究に係る問い合わせ先）
所在地：〒599-8234　堺市中区土塔町 2377-5
電話番号：072-235-3781　FAX：072-235-6950
学校の URL：http://www.osaka-c.ed.jp/higashimozu/

【研究成果のポイント】

○研究課題番号：４高等学校
○研究対象教科等：情報
○研究のキーワード：教科横断，ICT 活用，情報通信ネットワーク，環境整備，協働学習
○研究成果のポイント：

校内研修を通して，多くの教員が ICT 活用の必要性を理解し、実習を通して機器の操作ができるようになった。また，教科情報における生徒の ICT 活用の学習状況を踏まえ，各教科での授業設計を考える研修を実施し，7 名の教員が ICT を活用した公開授業を実施することができた。教員の多くはタブレット型パソコンを使った協働学習のイメージを持つことができた。校内に e-learning による個別学習システムを構築できた。

【研究の目的，研究内容】

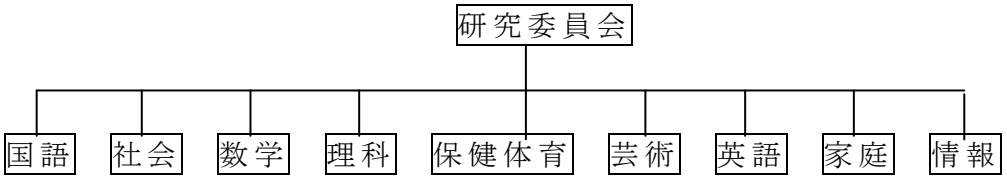
（１）研究主題

情報技術を活用した効果的なコミュニケーション能力を育む教科横断型授業の研究

（２）研究主題設定の理由

本校では，情報科と英語科の教科横断型の授業で，協働学習やプレゼンテーション等のコミュニケーション能力を育む学習活動に関して，ICT 機器を効果的に活用し成果をあげてきた。平成 25 年度からの高等学校学習指導要領に基づく授業においては，教員の ICT 活用指導力の向上や生徒の情報活用能力の育成を一層図ることが求められていることから，各教科において ICT を活用した授業が継続的・発展的に取り組めるように，情報科が中心になり環境を整備し，教員研修をしながら教科横断型の授業における指導の内容や連携方法，情報端末を活用した個別学習や協働学習の在り方等について研究することにした。

（３）研究体制



（４）１年間の主な取組の経過

	3月21日　研究委員会設立
	4月5日　ICT教員研修（電子黒板セミナー）
平	7月2日　ICT研修（PowerPoint作成セミナー）
成	7月2日　学校視察（京都府立山城高等学校より2名）

25年度	8月16日	ICT教員研修（iBooks Authorの取扱いセミナー）
	9月1日	CHART NEWTWORK No.71(数研出版)に実践研究論文掲載
	9月18日	委嘱経費による物品購入(AirMacExtremeベースステーション)
	9月25日	公開授業・研究協議
	10月23日	ICT教員研修（iPad＋AppleTVの使い方セミナー）
	11月30日	情報コミュニケーション学会で研究発表
	12月7日	第8回デジタル教科書勉強会で発表
	1月31日	大阪府学校情報ネットワーク活用推進実践事例発表会で研究発表
	2月7日	平成25年度関係指定授業研究協議会で発表・研究協議
	3月20日	学校視察（福岡県立小倉南高等学校より1名）

（５）具体的な研究内容・方法，研究を進める上での工夫点等

高等学校学習指導要領に「情報科での学習が他の教科・科目等の学習に役立つよう，他の教科・科目等の連携を図ること」と記述してあることから，情報科が他教科と連携してICT 活用の授業を実施できるよう研修会や環境整備を行った。生徒達が情報の授業で身に付けた情報活用能力を他教科の学習で効果的に活用できるよう，また教員の ICT 活用指導力の向上に結び付くよう，研修会などを計画した。特に，タブレット型パソコンを使った協働学習のための ICT 活用実践について，授業イメージが得られるような研修を行った。数名が集まる小規模な研修が特に効果的であった。

【研究成果とその意義等】

（１）研究成果

○　学習指導要領の総則に記述されている「教科指導における ICT 活用の必要性」について、「授業での教員の ICT 活用，生徒による ICT 活用」を区別して講習を行い、教員の理解を深めることができた。

○　ワークショップ形式の教員研修を実施し，ICT を活用した授業のイメージを定着させた。その結果，11 月に ICT を活用した公開研究授業を 7 名が実施した。

○　英語科での実践「iPad を活用した英語による海外旅行提案コンテスト」を９月にまとめ，情報誌（数研出版）に紙上発表した。また，情報コミュニケーション学会での「情報科と英語科の連携から英語科単独のプレゼンテーション授業へ」の発表や、デジタル教科書勉強会での「iPad を使った英語プレゼン」，「Moodle 活用英語小テスト」の発表等、実践発表を行った。

○　教科横断した英語プレゼンテーション授業を、英語科が単独で実施したことを踏まえ、各教科においてもプレゼンテーション授業を実施するようになり，教科指導における ICT 活用が一層進んだ。また、e-learning による個別学習の演習問題を，各教科が作成し，その有効性を認識することができた。大阪府教育センターでの大阪府学校情報ネットワーク活用推進実践事例発表会で研究成果を発表した。

（２）研究成果の意義等

教育の情報化が叫ばれている中，現場の学校には「教科指導における ICT 活用の必要性」が浸透していない傾向にある。特に高等学校では，講義形式の一斉授業が主で，ICT を活用した協働学習のイメージはほとんどの教員は持ち合わせていないのが現状である。本校では、ICT 活用している教員の実践例を実際に見ることで，教育の情報化の普及・啓発から生徒の「情報活用能力」の育成に向けて各教科で何ができるかを教員は考えることができている。その意味で，研究指定校として実施してきたことが多くの教員の資質アップに結びついている。

（３）指定期間終了後の取組

生徒の「情報活用能力」育成をめざし，各教科で ICT を活用した授業がさらに普及するよう，学校全体で研究体制を組んで継続して取り組んでいく。